



須恵中PTA会長

くすばやし まさふみ 楠林 政文 さん

「家庭教育と地域の関わり」

「バレーボールやってます」「ママさんバレーの指導ですか?」「いいえパパさんバレーです」この会話は、他人から趣味を聞かれたときの決まり文句です。平成4年町民バレー大会に出場し惨敗したのをきっかけに、誰からともなく声が上がりが近所さんと一緒にチームを作りました。私の住む団地は、約20年前に分譲した新興住宅地であるため、なかなかコミュニケーションが

問う意見ばかりがニュースなどで報道されていますが、家庭教育はどうなのかな? と、疑問が残ります。今日の家庭環境は、核家族の世帯により共働きで忙しい中、家族また親子のふれあい・コミュニケーションが少なくなっているのではないのでしょうか。情報化時代が進む中、インターネットや携帯電話のメールを使って、友だちを中傷・批判していることも現実です。子育てをしている親は、子どもに、他人への「思いやり」や「やさしさ」などを、家庭内で教えていかなくはないのでしょうか。また、日頃から家庭の中で、子どもに声をかけていたら様子がおかしいのも気づくのではないのでしょうか。忙しいから、なかなか子どもとのコミュニケーションがとれていないのは、親の都合であり子どもには関係がないのではないのでしょうか。いろいろな講演会・研修会に参加して「家庭教育のあり方」について話がなされ、また、地域との関わりはどうか? も疑問

社会教育委員・学校教育および社会教育の関係者ならびに学識経験のある人から選考され、社会教育に関し、教育長を通して教育委員会に助言を行うため、教育委員会から委嘱された人です。

向こう三軒両隣 PART 2

～新たな「地域づくり」を求めて!～

社会の激変と共に、子どもたちを取り巻く環境も著しく悪化しています。子どもたちを不審者から守るため、PTAは見守り隊を発足して保護者に活動を展開。また、各コミュニティでも安全対策の委員会が立ち上がり、各種団体による子どもたちの見守りをして頂いています。残念なことに、ここ1か月の間に「いじめ」により、中学生が自らの命を絶つ事件が連鎖反

点として考えます。「家庭教育」を問われている今、子どもは、親の行動を見て成長をしています。親も、注意・反省をしなければいけないのではと思います。いろいろなことへの関心の無さが、子どもにも大きく影響を与えています。生活環境の改善もその一つとして、PTAも「早寝・早起き・朝ごはん」国民運動を展開しています。私たちの子どもの頃は、近所のおじさん・おばさん・お爺さん・お婆さんたちから、声をかけられ見守られて育ってきたものです。今、子育てをしている親である反面、地域の一員として、地域の方々を巻き込んで健やかに育つ教育環境を築かなければいけないと考えます。そのためにも、地域の方ともコミュニケーションを図り、一緒に考え学び、より良い教育環境をつくる事により、次世代を担う心豊かな人になって欲しいと願っています。

なりません。人として、大事なことを教え伝えていく責任があると考えます。また、未来を良くするための道を引くのも、親の責任ではないのでしょうか。このままでもいいのか? 危機感をもっていたらいいと思います。

向こう三軒両隣 PART 2

～新たな「地域づくり」を求めて!～



有識者 あべ としひこ 阿部 利彦 さん

「地域の輪は趣味から」

ンがとれなかったのですが、これをきっかけに急に近所が近くに感じ始めました。そして、この仲間と一緒に地域や校区の祭りに参加するなど、スポーツだけでなく地域活動にも参加するようになったのです。また、身近なところでは地域のソフトボールチームの方々も、地域の祭りなどに積極的に関わっています。このように、何かきっかけがあれば地域と関わろうと思っている人はたくさんいると思いますが、なかなかきっかけが掴めないのでしょうか。現在、趣味やスポーツを通じて活動しているのは、ジュニアやシニアばかりですが、このような方法で、活動の中核をなす中年層やその後を引き継ぐ青年層を取り込んでいったらどうでしょう。また、以前は青年団(現在も残っている所もあるのでは)が、があり、地域と関わっていたのですが、残念ながら残っています。そんな若者に、前述のように同じ趣味を持った者が集まり組

織(チーム)を作ってはどうか。例えば、中学・高校で部活をしたが、その後は、しなくても受け皿がなくなっていく者、行政が手助けしてやるのです。現在、各校区にコミュニティが組織され活動していますが、委員のみなさんに温度差がありませんか。それは、組織がボトムアップで作られたものではなく、既存の組織を役職指定のような感じでしょうか。既存の団体をそのよ

うな形で取り込むのではなく、現実にも動く駒を持った組織を校区コミュニティの推進委員などに取り入れていくことが、活性化に繋がるのではないかと考えております。社会教育委員に有識者として参加していますが、私にはそんな知識も能力もありませんので、自分が実践できそうなことをみなさんに提言できればと思っています。



子どもとのコミュニケーションを大切に
(第一保育所運動会)